PWSリーディング大学院アウトリーチ・プログラム、実施報告書

**高大連携プロジェクト：第1回高校生の霊長類学一日現地実習：**

**愛知県立明和高校のSSH講演と組み合わせた実習**

概要：明和高校SSHの講演（今年で連続5年目）と日本モンキーセンター訪問を、5月24日におこなった。対象は1年生全員360名である。そのフォロウアップ事業として、その後に希望者を募って実施した。夏休みの初日７月16日（水曜日）に、1-2年生の希望者20名について、霊長類研究所と日本モンキーセンターで見学実習をおこなった。

①    5月24日（金）、愛知県立明和高校SSHの講演、犬山市民文化会館。

対象は1年生全員9組360名。1000-1120、松沢の講演。バスで移動して1230に日本モンキーセンター着。昼食。高野智主席学芸員による「霊長類の多様性」と題した25分の講義を2班（200名と160名）に分けて実施するとともに園内の自由見学をした。1500バス出発して帰学。

②    7月16日（木）、霊長類研究所と日本モンキーセンターで見学と実習。

対象は明和高校の1･2年生の希望者20名と引率教員2名。犬山駅900現地集合。台風11号の影響の雨が断続的に強く降るため、万一の安全を考慮して、研究所から公用車2台を含む自動車5台をだして駅まで迎えにいった。午前中930-1230、3班に分かれて、霊長類研究所のチンパンジーの認知実験等を体験した。「4階のスカイラボ実験」、「１階の南プレイルームでのチンパンジー認知実験」、「ゲノムの実験解析室」。各場所に約40分間ずつの滞在でひととおりを全員が経験し、最後に霊長研教員5名とまとめの質疑をおこなった。昼は1230-1330、セミナーハウス白帝で昼食。午後は1330-1630、5班に分かれて5名のキュレーター（高野、赤見、新宅、綿貫、早川）が、3時間コースで実習をおこなった。質疑のあと1700終了。1714のバスで犬山駅へ移動し、現地解散とする。なお、日本モンキーセンターの利用については、「友の会」会員を除き、規定の入園料を徴収した。

担当は以下のとおり

霊長類研究所：　松沢、友永、林、足立、川上、市野

日本モンキーセンター：　松沢、高野、赤見、新宅、綿貫、早川

明和高校引率教員：　加藤邦彦教頭、本部亜矢子教諭